

EGOTERIC

SA-50

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。






エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。





末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。







 警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 電源プラグをコンセントから抜く	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (36ページに記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (36ページに記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	この機器のキャビネットは絶対に外さない。 キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (36ページに記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
 強制	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあげる。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。


 注意 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	
 強制	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する。</p> <p>それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>電源を入れる前には音量を最小にする。</p> <p>突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	<p>この機器は18kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。</p>
	<p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。</p> <p>異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。</p> <p>湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。</p> <p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。</p> <p>火災・感電やけがの原因となることがあります。</p>
	<p>この機器の付属の電源コードセットを他の機器に使用しない。</p> <p>故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードを熱器具に近付けない。</p> <p>コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。</p>
	<p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>

安全にお使いいただくために (続き)

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意 乾電池に関する注意	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない。 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。
 注意 電池に関する注意	
 強制	電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない。 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。 ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

 愛情点検	<p>電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。</p> <p>内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。</p> <p>特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。</p> <p>5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。</p> <p>費用についてはお問い合わせください。</p>
---	---

目次

安全にお使いいただくために.....	2
目次.....	5
お使いになる前に.....	5
使用上の注意.....	6
ディスクについて.....	6
アンプとの接続.....	8
その他の接続.....	10
各部の名称(本体).....	12
各部の名称(ディスプレイ).....	13
各部の名称(リモコン).....	14
リモコンについて.....	15
再生.....	16
選曲.....	18
リピート再生.....	19
プログラム再生.....	20
ディスプレイ.....	21
D/Aコンバーターモード.....	22
パソコンと接続して音楽ファイルを再生する.....	22
設定について.....	25
設定できる項目と設定.....	26
ディマー.....	30
音量の調節.....	31
困ったときは.....	31
仕様.....	33
保証とアフターサービス.....	34
リアパネル.....	35

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(36ページに記載)にご連絡ください。

電源コード×1
 リモコン(RC-1156)×1
 リモコン用乾電池(単3)×2本
 フェルト×3枚
 取扱説明書(本書)×1
 ご愛用者カード×1

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

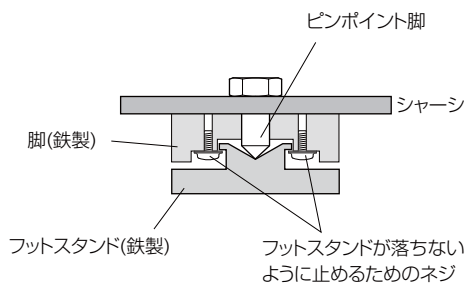
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

△お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

設置について

本機の底板には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



●設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

“Super Audio CD” と “DSD” は登録商標です。

Windows XP、Windows Vista は 米国 Microsoft corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSEボタン(▲)を押してディスクトレイを開けないでください。強い力でディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしみ模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 床を傷付けたくない場合は、脚の裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

外部接続した機器で録音する時の注意

ディスクによってはコピー禁止信号の入っているものがあります。コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。(音声をアナログで録音することは可能です)

ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

スーパーオーディオCD  SUPER AUDIO CD
音楽用CD  COMPACT disc DIGITAL AUDIO

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。
- コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクやDualDiscは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証いたしかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

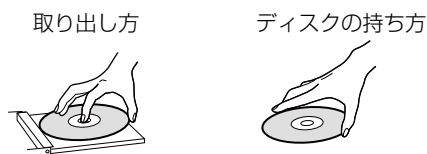
本機は音楽CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

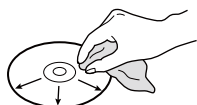
ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。
(コンパクトディスクの再生は片面だけです)
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

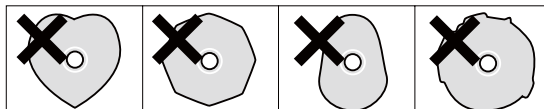


- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



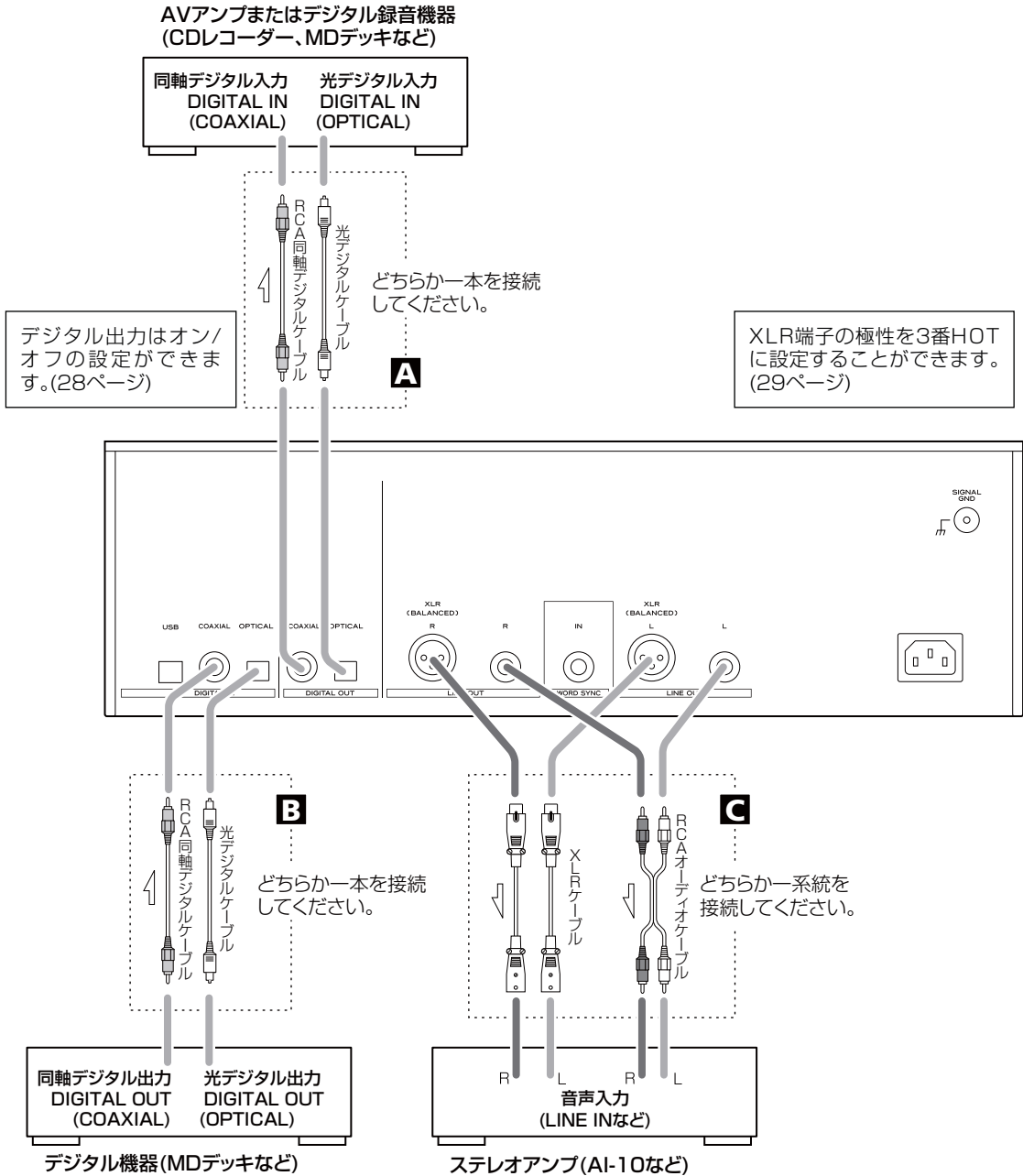
- レーベル面に印刷するタイプのディスク(プリンタブルディスク)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

アンプとの接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A デジタル音声出力端子

CDのデジタル音声を出力します。
本機のデジタル出力端子(COAXIALまたはOPTICAL)を、アンプやデジタル録音機器(CDレコーダーなど)のデジタル入力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

COAXIAL : RCA同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル(TOS)

- この端子からは、スーパーオーディオCDのデジタル音声は出力できません。
- 本機の光デジタル端子はシャッター式です。接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してシャッターが閉まらなくなることがありますのでご注意ください。
- デジタル出力はオン/オフの設定ができます。(28ページ)

B デジタル音声入力端子

デジタル音声を入力します。デジタル機器のデジタル出力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

COAXIAL : RCA同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)

C アナログ音声出力端子

2チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR端子またはRCA端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : バランス型XLRケーブル
RCA : RCAオーディオケーブル

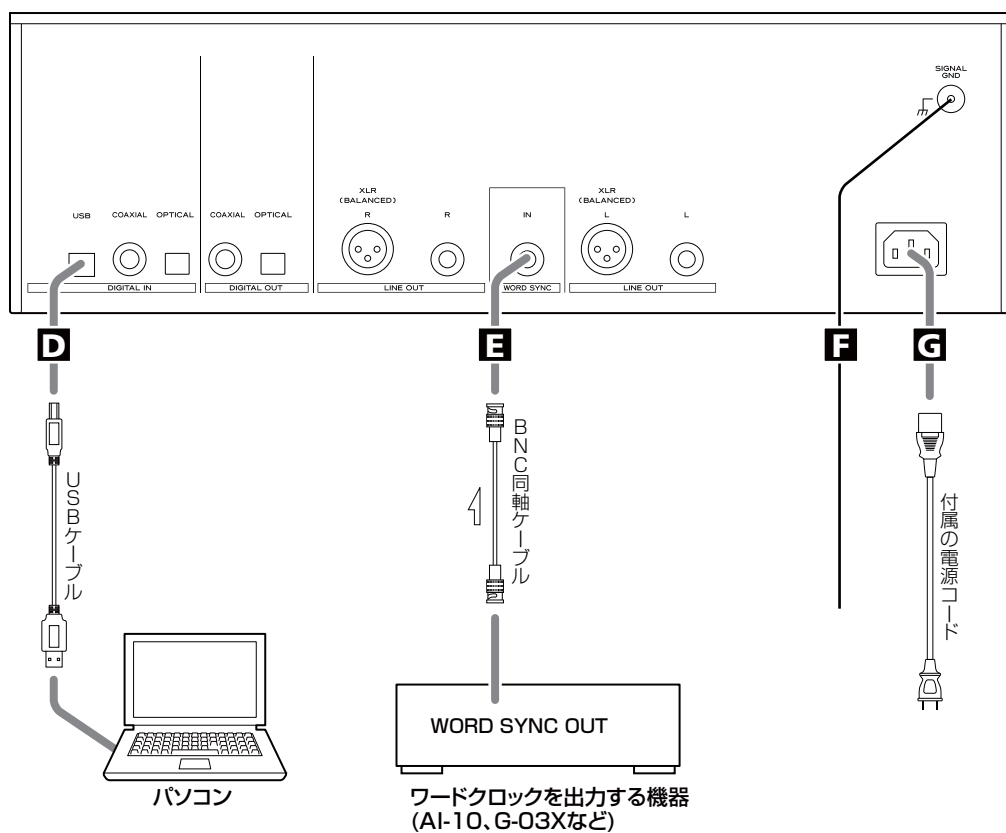
本機のR端子とアンプのR端子、本機のL端子とアンプのL端子をそれぞれ接続してください。

- アナログ音声出力は、オン/オフおよびXLR端子の極性(2番HOTまたは3番HOT)を設定できます。(29ページ)

エソテリックでは、リファレンスとして**エソテリック MEXCEL ストレスフリー 7N**ケーブルを使用しています。エソテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

RCAオーディオケーブル	BNCデジタルケーブル
XLRオーディオケーブル	スピーカーケーブル
RCAデジタルケーブル	パワーケーブル
XLRデジタルケーブル	

その他の接続



D USB入力端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンのUSB端子と接続してください。

接続には市販のUSBケーブルをお使いください。

- USB入力の回路を常時動作させるか、USB入力選択時のみ動作させるかを設定することができます。(30ページ)

E ワードシンク端子

同期信号を入力します。

市販のBNC同軸ケーブルを使って、アンプAI-10やマスタークロックジェネレーターのWORD SYNC OUT端子と接続してください。

F アース端子[SIGNAL GND]

アンプなど、本機と接続する機器とアース接続をすると、音質が良くなる場合があります。

- 安全アースではありません。

G 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

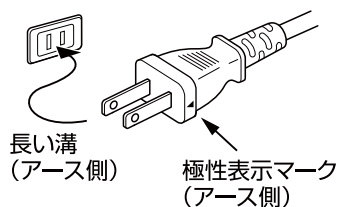
- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

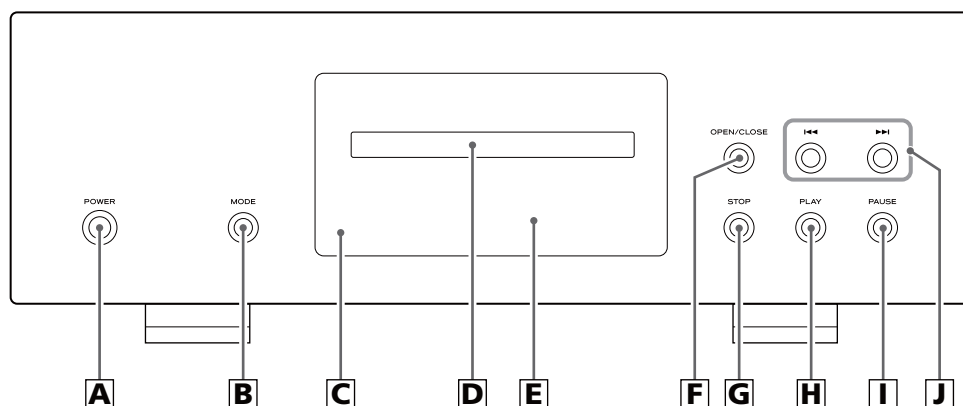
電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(▲)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



各部の名称(本体)



A 電源ボタン [POWER]

電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が点灯します。
電源がオフのときは、消灯します。

本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

B モードボタン [MODE]

停止中に押すと、CD/SACDと外部入力からソースを選択します。外部入力にするとD/Aコンバーターとして使用することができます。(22ページ)
2秒以上押し続けると、設定モードになります。(25ページ)

C リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(15ページ)

D ディスクトレイ

E ディスプレー

F オープン/クローズボタン [OPEN/CLOSE]

ディスクトレイを開閉します。

G 停止ボタン [STOP]

再生を停止します。(17ページ)
停止中はディスクが入っているとボタンの周囲が点灯します。

H 再生ボタン [PLAY]

ディスクを再生します。(16ページ)
再生中はボタンの周囲が点灯します。

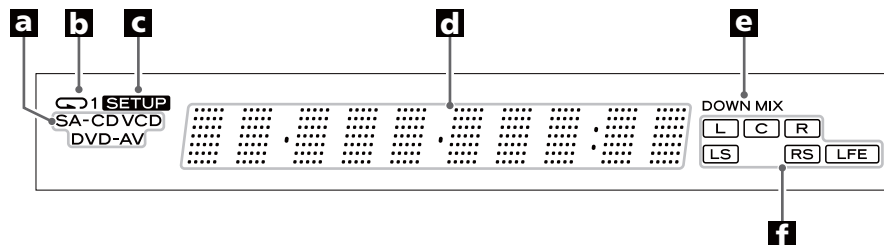
I 一時停止ボタン [PAUSE]

再生を一時停止します。(17ページ)
一時停止中はボタンの周囲が点灯します。

J スキップボタン [◀◀/▶▶]

前または後ろにスキップします。
再生中に1秒以上押し続けると早送り/早戻しをします。
1秒以上の長押しをくり返すと、早送り/早戻しのスピードが3段階に変わります。(18ページ)

各部の名称(ディスプレイ)



a ディスクインジケータ

セットされているディスクの種類を表示します。
DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDをセットするとインジケータが点灯しますが、再生はできません。

b リピートインジケータ

リピート再生中に点灯します。

c セットアップインジケータ

MODEボタンを押し続けて設定モードにすると点灯します。

d メッセージ表示部

再生時間など各種メッセージが表示されます。

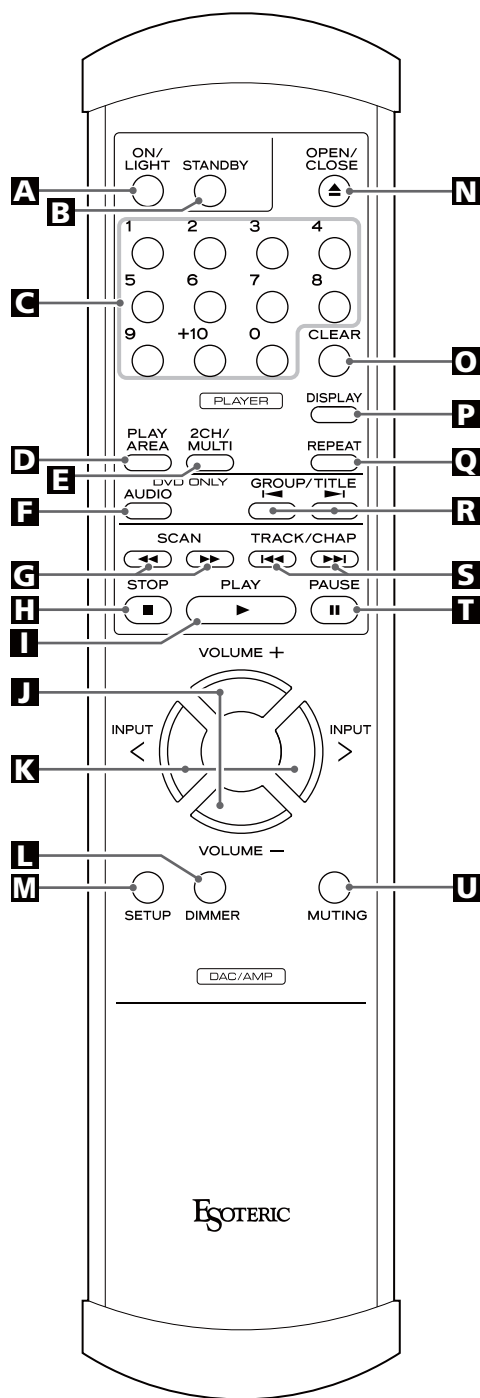
e ダウンミックスインジケータ

スーパーオーディオCDのサラウンドのアナログ音声をダウンミックスして出力しているときに点灯します。

f チャンネルインジケータ

2チャンネルの音声の再生中は、L/Rが点灯します。
マルチチャンネルの音声の再生中は、音声に含まれるチャンネルが点灯します。

各部の名称(リモコン)



A 照明ボタン [ON/LIGHT]

このボタンを押すと、リモコンの白いボタンが数秒間点灯します。

B スタンバイボタン [STANDBY]

本機では使用しません。

C 数字キー

選曲に使用します。

D 再生エリアボタン [PLAY AREA]

停止中に押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えます。(17ページ)

E 2チャンネル/マルチチャンネルボタン

本機では使用しません。

F オーディオボタン [AUDIO]

プログラム再生に使用します。(20ページ)

G スキャンボタン (◀▶) [SCAN]

早送り/早戻しに使用します。(18ページ)

H 停止ボタン (■) [STOP]

再生を停止します。(17ページ)

I 再生ボタン (▶) [PLAY]

ディスクを再生します。(16ページ)

J 音量ボタン [VOLUME]

設定モードでアッテネーター機能をオンにしているとき、音量を調節します。(29ページ)
エソテリックのアンプの音量調節に使用します。

K 入力切換ボタン [INPUT]

本機では使用しません。
エソテリックのアンプの入力切換に使用します。

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

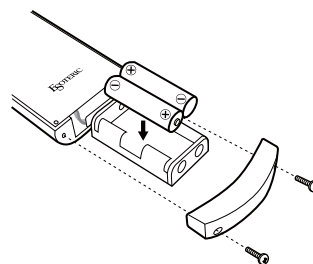
リモコンについて

リモコン使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れたら、電池ケースを戻し、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4ページの注意をよく読んでご使用ください。

L ディマーボタン [DIMMER]

本体のディスプレイの明るさを調節できます。(30ページ)

M セットアップボタン [SETUP]

本機では使用しません。
エソテリックのアンプの設定に使用します。

N オープン/クローズボタン(▲) [OPEN/CLOSE]

ディスクトレイを開閉します。(16ページ)

O クリアボタン [CLEAR]

数字キーを押し間違えたときなどに使います。

P ディスプレーボタン [DISPLAY]

再生中にこのボタンを押すと、ディスプレイの表示が切り換わります。(21ページ)

Q リピートボタン [REPEAT]

ディスクのリピート再生に使います。(19ページ)

R グループ/タイトルボタン(◀▶) [GROUP/TITLE]

停止中にこのボタンを押すと、CD/SACDと外部入力からソースを選択できます。外部入力にするとD/Aコンバーターとして使用することができます。(22ページ)
グループ/タイトル機能は本機では使用しません。

S スキップボタン(◀◀▶▶) [TRACK/CHAP]

前または後ろのトラックにスキップします。(18ページ)

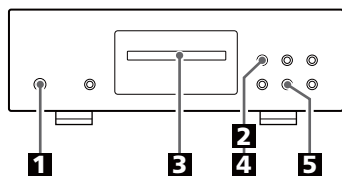
T 一時停止ボタン(⏸) [PAUSE]

再生を一時停止します。(17ページ)

U ミュートボタン [MUTING]

設定モードでアッテネーター機能をオンにしているとき、一時的に音を消します。(29ページ)
エソテリックのアンプのミュート機能を使う時に使います。

再生



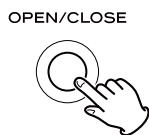
1 電源をオンにする。



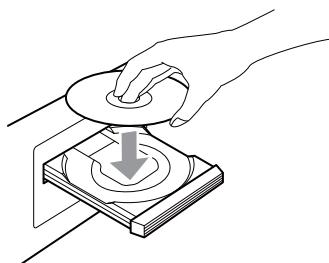
POWERボタンの周囲が点灯します。

2 OPEN/CLOSEボタン(▲)を押す。

ディスクトレイが手前に出ます。

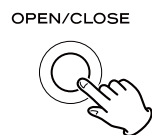


3 ディスクのレーベル面を上にしてトレイの中央にのせる。



- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレイを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレイが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレイの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

4 OPEN/CLOSEボタン(▲)を押す。



ディスクトレイが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスクを読み込むと、STOPボタン(■)の周囲が点灯します。

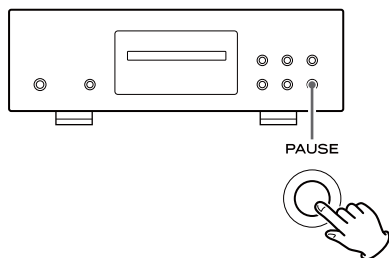
5 PLAYボタン(▶)を押す。

再生が始まります。



再生中は、PLAYボタンの周囲が点灯します。

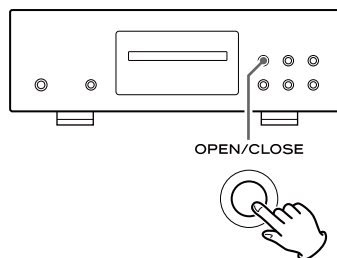
一時停止するには



再生中にPAUSEボタン(■)を押すと再生が一時停止し、本体のPAUSEボタンの周囲が点灯します。

PLAYボタン(▶)またはPAUSEボタン(■)を押すと、再び再生が始まります。

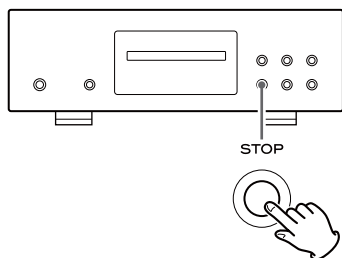
ディスクトレイを開閉するには



OPEN/CLOSEボタン(▲)を押すとトレイが開き、もう一度押すと閉まります。

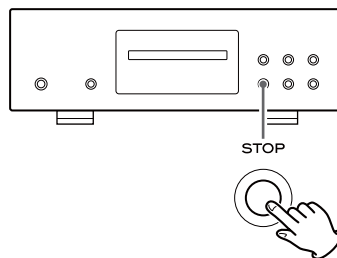
- ディスクの再生中にOPEN/CLOSEボタン(▲)を押した場合は、トレイが開くのの数秒かかります。

再生を停止するには



STOPボタン(■)を押すと再生が停止します。

再生エリアの切り換え

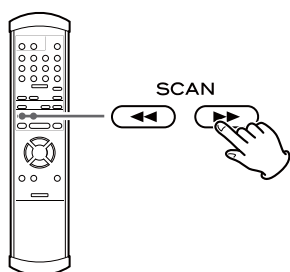


スーパーオーディオCDには、2チャンネルとマルチなど複数のエリアを持つものや、スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているものがあります。停止中にSTOPボタンを2秒以上押すと、再生エリアを切り換えることができます。

- リモコンで再生エリアの切り換えをするには、停止中にPLAY AREAボタンを押してください。

選曲

早送り/早戻しするには(スキャン)



再生中にリモコンのSCANボタン(◀▶)を押すと早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら、PLAYボタン(▶)を押してください。

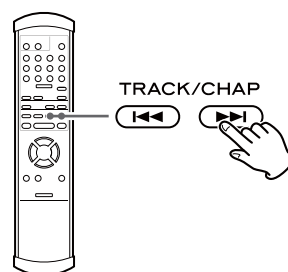
SCANボタン(◀▶)をくり返し押すと、早送り/早戻しの速度が変わります。

本体の場合は、スキップボタン(⏮/⏭)の長押し(1秒以上)をくり返します。

ディスプレイの「<」または「>」の点滅速度も変わります。

→ 速度(低) → 速度(中) → 速度(高) → 通常の再生

スキップするには



再生中に本体またはリモコンのスキップボタン(⏮/⏭)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

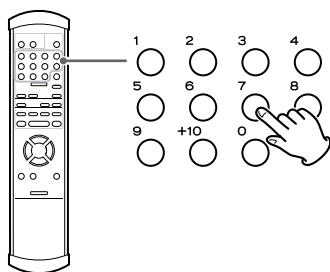
- ⏮ ボタンを1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、⏮ ボタンを続けて押してください。

ただし、曲の最初の1秒以内で⏮ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。

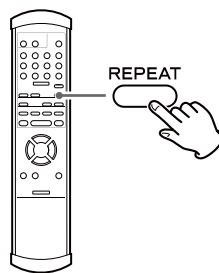
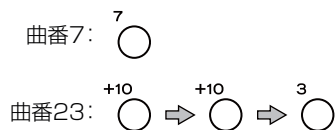
- 停止中または一時停止中に⏮/⏭ ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

リピート再生

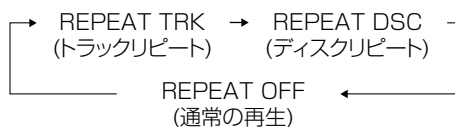
数字キーで選んで再生するには



再生中または停止中に数字キーを押すと、その曲から再生を始めます。



再生中にREPEATボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。



トラックリピート

再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

ディスクリピート

再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

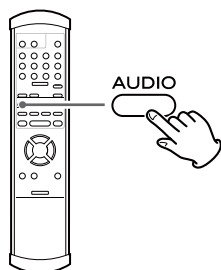
- 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

プログラム再生

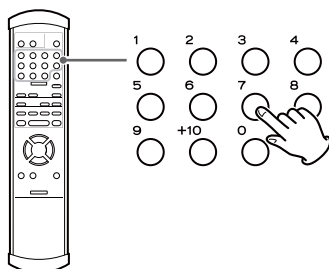
聴きたい曲を聴きたい順に、30曲までプログラムできます。

1 停止中または再生中にAUDIOボタンを押す。

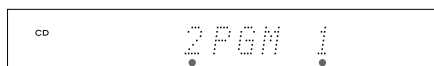
再生中の場合は、その曲が1番目にプログラムされます。



2 数字キーでプログラムしたい曲番を選ぶ。



3の場合 : 3
12の場合 : +10→2
20の場合 : +10→+10→0



プログラムされたトラック番号 プログラム番号

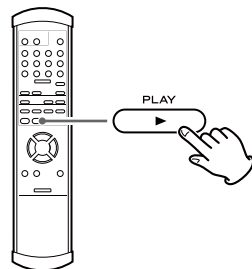
複数の曲をプログラムするときは、続けて数字キーを押してください。

- 数字キーを押し間違えたときは、CLEARボタンを押すと最後にプログラムした曲だけを消去できます。
- そのディスクに存在しない番号はプログラムできません。

3 プログラムが終わったら、PLAYボタン(▶)を押す。

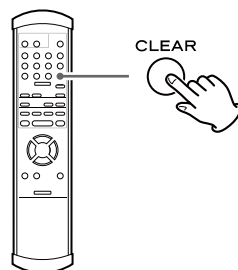
プログラム再生が始まります。

- 再生中にプログラムした場合は、PLAYボタンを押さなくても再生が始まります。



プログラムの最後の曲を削除するには

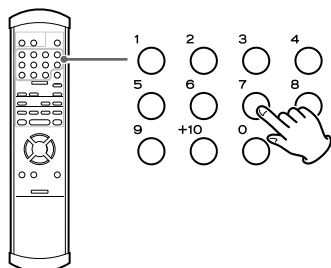
停止中または再生中に、CLEARボタンを押すと最後にプログラムした番号が消去できます。再度数字ボタンを使って入れ直してください。



ディスプレイ

プログラムの最後に曲を追加するには

停止中または再生中に、数字キーで追加したい番号を選んでください。

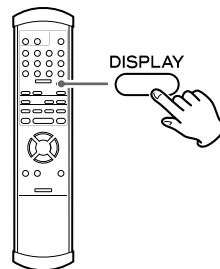
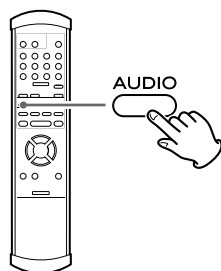


全てのプログラム内容を消去して通常の再生に戻るには

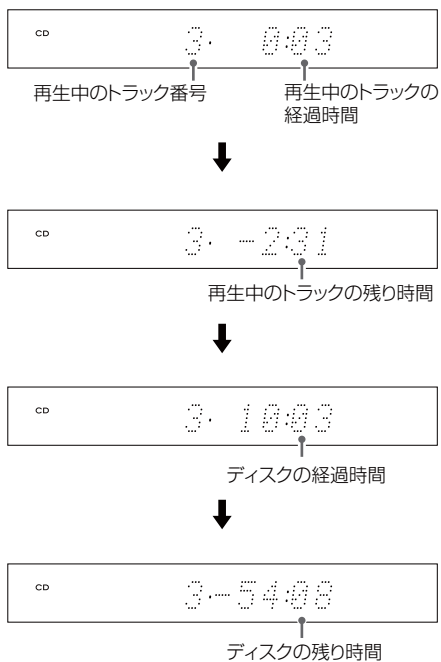
停止中または再生中に、AUDIOボタンを押すとプログラムモードは解除されます。プログラム再生中にAUDIOボタンを押した場合は、そこから通常の再生に戻ります。

- プログラム内容は消去されます。

また、停止中または再生中にOPEN/CLOSEボタン(▲)や本体の電源ボタンを押した場合もプログラム内容は消去されます。



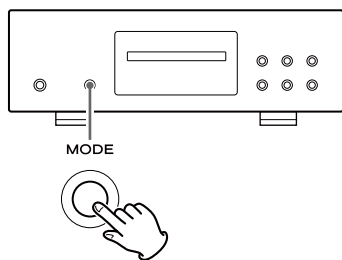
ディスクの再生中または一時停止中にDISPLAYボタンを押すと、ディスプレイの表示が次のように切り換わります。



- 停止中は、ディスクの総トラック数と総再生時間を表示します。



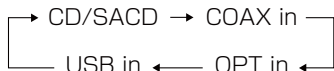
D/Aコンバーターモード



本機はD/Aコンバーターとして使用することができます。

停止中にMODEボタンを押すたびに、ソースが切り換わります。

リモコンで操作する場合は、停止中にGROUP/TITLEボタン(◀/▶)を押します。



- 外部入力(COAX in、OPT in、USB in)を選んだときは、ディスプレイに入力名と入力されているサンプリング周波数が表示されます。入力信号がないときや入力信号にロックできないときは、入力サンプリング周波数が表示されずに、入力名が点滅表示されます。
- 入力されているデジタル信号がオーディオデータでない場合や、Dolby Digital、dts、AACなど、正しく音声を出力できないオーディオ信号の場合、サンプリング周波数表示部に「- -」と表示されます。接続している機器のデジタルOUT設定をPCMオーディオ出力に設定してください。
- 外部入力(COAX in、OPT in、USB in)を選んだときは、OPEN/CLOSEボタン(▲)以外のCD/SACDの操作はできません。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する

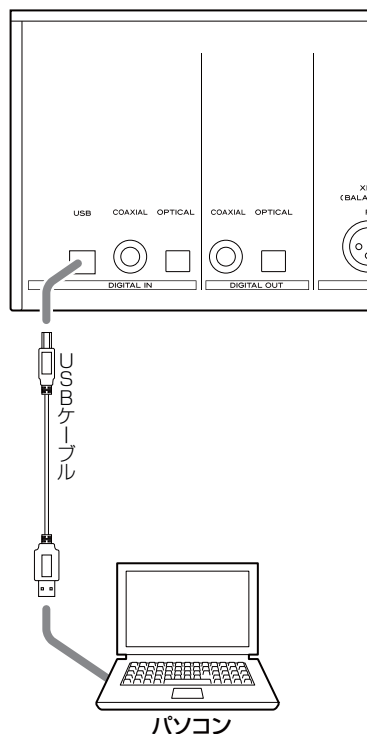
本機のUSB入力端子とパソコンをUSBケーブルで接続して、パソコンに記録されている音楽ファイルを本機のD/Aコンバーターを使って再生することができます。

USB接続できるパソコンのOSはMicrosoft「Windows XP」、「Windows Vista」のいずれかとなります。これ以外のOSでは動作は保証いたしません。

- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記のOSを使用しても動作できない場合があります。

1 USBケーブルでパソコンと本機を接続する。

ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。



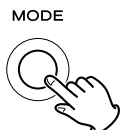
2 パソコンの電源を入れる。

OSが正常に起動できたことを確認してください。

3 POWERボタンを押して本機の電源を入れる。



4 MODEボタンをくり返し押しして「USB in」を選ぶ。(22ページ)



- 初めてパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側で本機のUSBポートを自動検出し、ドライバーがインストールされます。OSの指示に従って、ドライバーのインストールを完了してください。

5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調整するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

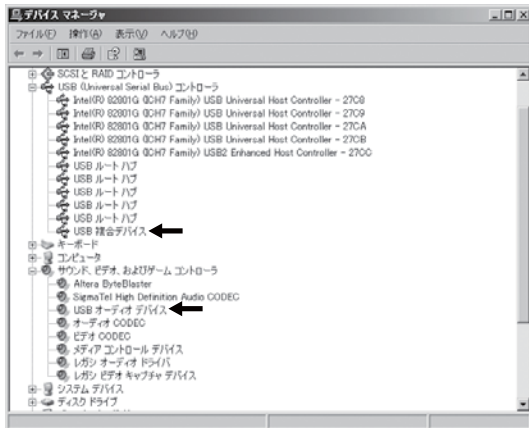
- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機からUSB経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB接続で音楽ファイルを再生しているときに、下記の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
 - USBケーブルを抜く
 - 本機の電源をオフにする
 - 入力を切り換える
- USB接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- パソコンの環境によっては、USB上のデータ伝送速度が確保できず、音が途切れたり、ノイズが発生したりする場合があります。また、音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動した場合も、音が途切れたり、ノイズが発生したりする場合があります。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。
- 本機は、USB入力以外で使用しているときにUSB入力による音質への悪影響を防ぐために、USB入力回路の電源をオフにする「USB_PW」の設定を工場出荷時に「OFF」に設定しています。パソコンとのUSB接続を常に維持した状態でお使いになる場合は、「USB_PW ON」に設定にしてください(30ページ)。「ON」に設定した場合は、本機の入力をUSB以外に切り換えてもパソコンとのUSB接続が継続できるように、USB入力回路部を常に動作させます。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する (続き)

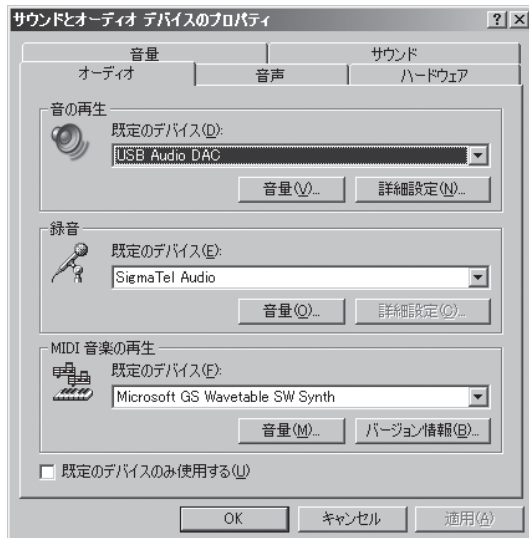
対応OSを使い、上記の接続を行っても正しく音声が出力できない場合は、以下の点を確認してください。

Windows XP の場合

ドライバーが正しくインストールされると、「デバイス マネージャ」→「USB (Universal Serial Bus) コントローラー」に「USB複合デバイス」が表示されます。また「デバイス マネージャ」→「サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ」に「USBオーディオ デバイス」が表示されます。表示されていない場合は、**1**から**4**の手順を再度行ってからドライバーをインストールしなおしてください。



- 「コントロールパネル」→「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」→「オーディオ」→「音の再生」→「既定のデバイス」で「USB Audio DAC」が選択されていることを確認してください。

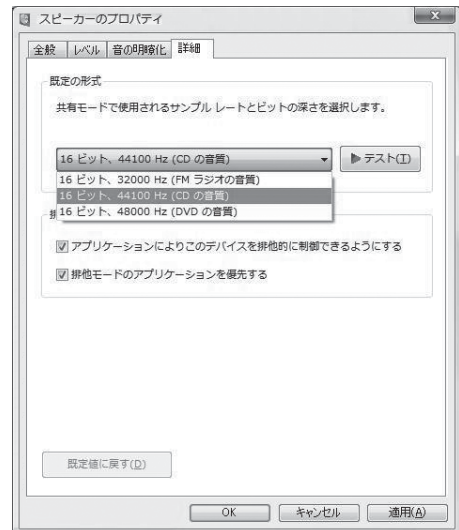


Windows Vista の場合

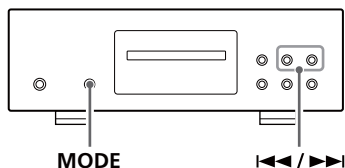
「コントロールパネル」→「サウンド」→「再生」で「スピーカー USB Audio DAC」が選択されていることを確認してください。



- また、この画面で「プロパティ」をクリックすると下記のような画面となり、オーディオの「サンプルレートとビット長」の設定ができます。より高音質で再生するためには、「16ビット、44100 Hz (CDの音質)」または「16ビット、48000 Hz (DVDの音質)」が選択されていることを確認してください。CDから取り込んだデータの再生では、「16ビット、44100 Hz (CDの音質)」を選択することをおすすめします。

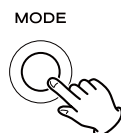


設定について

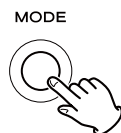


設定のしかた

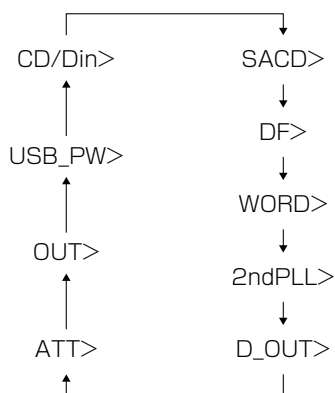
- 1** 停止中または再生中に、MODEボタンを2秒以上押し続ける。



- 2** MODEボタンをくり返し押しして、変更する項目を選ぶ。

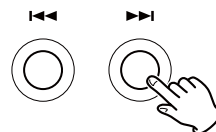


MODEボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が変わります。



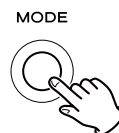
- 選択しているソースや操作している状態により表示されない項目があります。
- 10秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。
- メニュー表示中にMODEボタンを2秒以上押し続けるか停止ボタンを1回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 3** 本体またはリモコンのスキップボタン (I<</>/>>I)を使って、設定を変更する。



複数の項目を変更する場合は、手順 **2** と **3** をくり返してください。

- 4** MODEボタンを2秒以上押し続けて、設定を終了する。



または、10秒以上放置するか、停止ボタンを1回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

設定できる項目と設定

アップコンバート (CD/Din>****)

CD再生時と外部入力時のアップコンバート信号処理を設定します。

ORG(オリジナル)

アップコンバートを行いません。(D/Aコンバータでは、デジタルフィルターにより32bit/8倍オーバーサンプリングされます。)

2Fs

CDまたは、外部入力のデジタル音声信号が32/44.1/48kHzのときに、入力信号を64/88.2/96kHzにアップコンバートします。

4Fs

CDまたは、外部入力のデジタル音声信号が32/44.1/48/88.2/96kHzのときに、入力信号を128/176.4/192kHzにアップコンバートします。

DSD

CDまたは、外部入力のデジタル音声信号をDSD信号に変換します。

- 「2Fs」、「4Fs」に設定した場合、入力信号の周波数が設定よりも高いか、同じ周波数のときは、アップコンバートしません。

スーパーオーディオCDの信号処理 (SACD>****)

スーパーオーディオCD再生時の信号処理を設定します。

- ソースが外部入力のときは、この項目は表示されません。

DSD

スーパーオーディオCDのDSDオーディオ信号を変換しません。

2Fs+6

スーパーオーディオCDのDSDオーディオ信号を、88.2kHz/32bitのPCM信号に変換し、通常のCDとの音量差をなくすためにゲインを6dBアップします。

4Fs+6

スーパーオーディオCDのDSDオーディオ信号を、176.4kHz/32bitのPCM信号に変換し、通常のCDとの音量差をなくすためにゲインを6dBアップします。

2Fs

スーパーオーディオCDのDSDオーディオ信号を88.2kHz/32bitのPCM信号に変換します。通常のCDとの音量差が約6dBありますので、接続しているアンプ側で音量を調整してください。

4Fs

スーパーオーディオCDのDSDオーディオ信号を176.4kHz/32bitのPCM信号に変換します。通常のCDとの音量差が約6dBありますので、接続しているアンプ側で音量を調整してください。

- 「2Fs+6」、「4Fs+6」に設定すると、スーパーオーディオCDのマスタリングによっては、最大音量部分でクリップすることがあります。その場合は、「2Fs」または「4Fs」に設定してください。

デジタルフィルター

(DF>****)

デジタルフィルターを切り換えます。CDやデジタル入力の信号をDSDに変換した場合、スーパーオーディオCDのDSD信号を変換せずに再生する場合は、この設定は関係ありません。

FIR

32bit/FIRデジタルフィルターにより、入力信号を8倍オーバーサンプリングします。濃密で豊かな音の響きを特徴とします。

S_DLY

32bit/ショートディレイフィルタにより、入力信号を8倍オーバーサンプリングします。インパルス応答にプリエコーがなく、音の立ち上がりや音の余韻が自然で、原音に近い音色が特徴です。

ワードシンク

(WORD>****)

CD/SACD再生時のワードシンクモードを設定します。

- ソースが外部入力のときは、この項目は表示されません。

OFF

ワードシンクを使用しません。内蔵のマスタークロックにより動作します。

ON

外部入力されたワードクロックをマスターとしてシンク動作します。

入力可能なクロック周波数は、44.1kHz/88.2kHz/176.4kHz/100kHzです。

「ON」を選ぶと、MODEボタンの周囲が点滅して外部クロックをサーチします。クロックを感知してロックすると点灯に変わり、外部同期による再生が可能になります。

- ワードシンクが「ON」の状態、ワードクロックが入力されていないときは、ディスプレイに「No Word!」が表示されます。また入力されたワードクロックにロックできないときは、ディスプレイに「WRD UNLCK!」が表示されます。このような場合は、ケーブルの接続や入力クロックの周波数を確認してください。

設定できる項目と設定 (続き)

マスタークロックの抽出 (2ndPLL>***)

外部入力されたデジタル信号からマスタークロックを抽出する方法を設定します。COAX in/OPT in/USB in の入力毎に、個別に設定することができます。

- CD/SACDモードのときは、この項目は表示されません。

OFF

デジタルオーディオインターフェースレシーバーのPLL回路により、クロックを生成します。

ON

デジタルオーディオインターフェースレシーバーのPLL回路により生成されたクロックを、さらに内蔵している電圧コントロール型水晶発振器を使用した2nd PLL回路で制御し、クロックを生成します。ジッター除去特性の異なるPLL回路を2段使用することにより、効果的にデジタルオーディオインターフェースの伝送ジッターを軽減し、音像のしっかりした再生音にします。

2nd PLL回路がロックすると、MODEボタンの周囲の点滅が点灯に変わります。

- 入力オーディオ信号が32kHzの場合は、2nd PLL回路が「ON」に設定されていても、動作しません。
- 内蔵の水晶発振器でロックできないオーディオ信号を入力した場合、ロックが完了せずにインジケータが点滅のままとなります。この場合は、「OFF」に設定してください。

デジタル出力 (D_OUT>***)

CD再生時のデジタル出力のオン/オフを設定します。

OFF

デジタル出力しません。出力をオフにすることにより、よりピュアなCD再生が可能となります。

ON

デジタル出力端子から信号を出力します。デジタル出力端子に機器が接続されているときは「ON」にしてください。

- スーパーオーディオCD再生時は、「ON」に設定されていてもデジタル出力しません。

アッテネーター (ATT>***)

アナログ音声出力のアッテネーター機能をオン/オフします。

OFF

アッテネーター機能をオフにします。リモコンのVOLUMEボタン、MUTINGボタンは機能しません。

ON

アッテネーター機能をオンにします。リモコンのVOLUMEボタンにより、音量の調節ができます。リモコンのMUTINGボタンを押すと、ミュート状態にすることができます。ミュートを解除するには、再度MUTINGボタンを押すか、VOLUMEボタンを押してください。

- エンテリックのアンプやボリュームコントロール付きのD/Aコンバーターと合わせて使用するときは、「OFF」に設定してください。

アナログ出力端子 (OUT>*****)

アナログ音声出力の出力端子を設定します。

OFF

アナログ音声を出力しません。本機をCDトランスポートとしてお使いになる場合は、この設定をお使いください。

RCA

RCA端子からだけ出力します。RCA端子だけをお使いの場合は、この設定にしてください。

XLR:2

XLR端子からだけ2番HOTで出力します。2番HOTのXLR端子と接続する場合はこの設定にしてください。エソテリックのアンプは2番HOTです。

XLR:3

XLR端子からだけ3番HOTで出力します。3番HOTのXLR端子と接続する場合はこの設定にしてください。

BOTH

RCA端子/XLR端子の両方から出力します。XLRは、2番HOTでの出力になります。両方の端子を同時にお使いになる場合にこの設定をお使いください。

USB入力回路 (USB_PW>***)

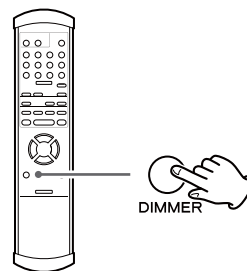
USB入力の回路を常時動作させるか、USB入力選択時のみ動作させるかを設定します。

OFF

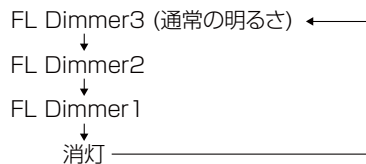
「USB in」が選択されたときのみ、USB入力回路部を動作させます。ディスク再生や他のソースを再生する際にUSB入力回路の影響を減らし、よりピュアな再生が可能となります。「USB in」の状態から「USB in」以外に切り換えると、USB入力部が「OFF」となるため、再度「USB in」を使用する際は、パソコン側のオーディオプレーヤーソフトの再起動が必要となる場合があります。

ON

常にUSB入力回路を動作させた状態にします。「USB in」以外の動作中もUSB入力回路が動作しパソコンとの接続が維持できるため、「USB in」選択時のパソコン側の操作が必要ありません。(「USB in」選択後にパソコン側のオーディオプレーヤーソフトの再起動が必要ありません。)

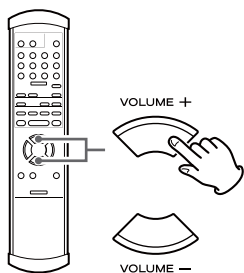


本体のディスプレイとインジケーターの明るさを調節できます。



- 「消灯」を選ぶと、ディスプレイとインジケーターが消灯します。
- 消灯中に再生ボタンなどを押すと、約3秒間だけディスプレイが通常の明るさで点灯します。

音量の調節

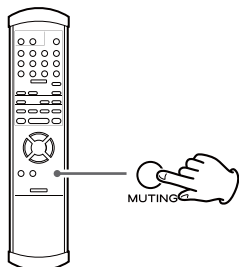


本機はアナログ音声出力の音量を調節することができます。プリアンプを介せずに直接パワーアンプに接続して使用する場合に便利です。

- アッテネーターの設定をオンにしてください。(29ページ)

リモコンのVOLUMEボタンの+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります。

ミュートィング



リモコンのMUTINGボタンを押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

⚠ 注意

音量は電源をオフにしても記憶されます。パワーアンプの電源をオンにする前に、必ず本機の音量を最小にしてください。

アッテネーターの設定をオフにしたままで、絶対にパワーアンプに直接接続しないでください。突然大きな音が出て聴力障害やスピーカーの破損の原因となることがあります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(36ページに記載)にご連絡ください。

一 般

電源が入らない。

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➔ 電源ケーブルと本機の接続を確認してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ 本体の電源をオンにしてください。(16ページ)
- ➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(15ページ)
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(15ページ)

テレビなどが誤動作する。

- ➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

CDやスーパーオーディオCDを再生できない。

- ➔ MODEボタンをくり返し押して、「CD/SACD」を選んでください。
- ➔ ディスクを正しくセットしてください。ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(7ページ)
- ➔ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて1、2時間放置してください。(32ページ)

ボタンを押しても反応しない。

- ➔ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。

- ➔ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

困ったときは (続き)

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

- アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(8ページ)
- アンプなどの音量を調節してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- デジタル音声出力端子からは、スーパーオーディオCDのデジタル音声は出力できません。
- 一時停止中は音が出ません。PLAYボタン(▶)を押して通常の再生に戻してください。
- アナログ音声出力の設定を確認してください。(29ページ)

外部接続した機器でデジタル録音できない。

- コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。

CDとスーパーオーディオCDで音量差を感じる。

- CDとスーパーオーディオCDで音量差を感じるがありますが、これはディスクの記録方式の違いによるものです。
- スーパーオーディオCDの信号処理の設定を確認してください。(26ページ)

ワードシンク

「No Word!」が表示される。

- ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続、マスタークロックジェネレーターの電源や出力状態を確認してください。
- ワードクロックが入力できない時は、ワードシンクはオフにしてください。(27ページ)

「WRD UNLCK!」が表示される。

- 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。
本機に入力可能な周波数は44.1/88.2/176.4/100kHzです。

パソコンとのUSB接続

パソコンで本機が認識されない。

- USB接続できるパソコンのOSはMicrosoft「Windows XP」、「Windows Vista」のいずれかとなります。これ以外のOSでは動作の保証はいたしません。

雑音がする。

- 音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。

音楽ファイルが再生できない。

- パソコンと本機を接続してから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB in」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1~2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕様

再生可能ディスク

スーパーオーディオCD、CD (CD-R/CD-RW対応)

アナログ音声出力

端子	XLR端子(2ch)×1 RCA端子(2ch)×1
出力インピーダンス	XLR:100Ω RCA:100Ω
最大出力レベル (1kHz、フルスケール、10kΩ負荷時)	XLR:2.2Vrms RCA:2.2Vrms
周波数特性	.5Hz~40kHz (SA-CD)
S/N比	130dB
歪率	0.001% (1kHz)

デジタル音声出力

光デジタル端子×1	-15~-21dBm
RCA端子×1	0.5 Vp-p (75Ω 負荷時)

デジタル音声入力

光デジタル端子×1	-24.0~-14.5dBm peak
RCA端子×1 (入力インピーダンス75Ω)	0.5 Vp-p
USB-B端子	USB1.1準拠

ワードシンク入力フォーマット

端子	BNC
入力可能周波数 (矩形波)	44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz、100kHz
入力インピーダンス	75Ω
入力レベル	TTLレベル相当

一般

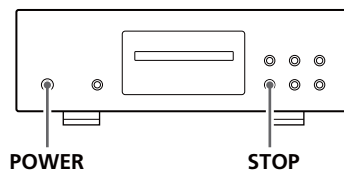
電源	100V AC 50-60Hz
消費電力	15W
外形寸法	442mm x 153mm x 353mm (WxHxD、突起部を含む)
質量	1.8kg
許容動作温度	+5℃~+35℃
許容動作湿度	5%~85%(結露のないこと)
許容保管温度	-20℃~+55℃

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-1156)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×3枚
取扱説明書(本書)×1
ご愛用者カード×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1. 電源をオフにする。

電源がオンの場合は、POWERボタンを押して電源をオフにしてから30秒以上待ってください。

2. 本体のSTOPボタン(■)を押しながらPOWERボタンを押す。

ディスプレイに「Setup CLR (設定消去)」が表示されたらSTOPボタンから指を離してください。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から一年です。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはご購入の販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご購入、ご購入品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - ご購入後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - メンテナンス
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有していません。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、ご購入のの販売店またはティアック修理センター(36ページに記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

31~32ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入のの販売店またはティアック修理センター(36ページに記載)にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

- 型名:スーパーオーディオCDプレーヤー SA-50
- シリアルNo.:
- ご購入日:
- 販売店名:
- お客様のご連絡先
- 故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じて、当社は一切の責任を負いません。

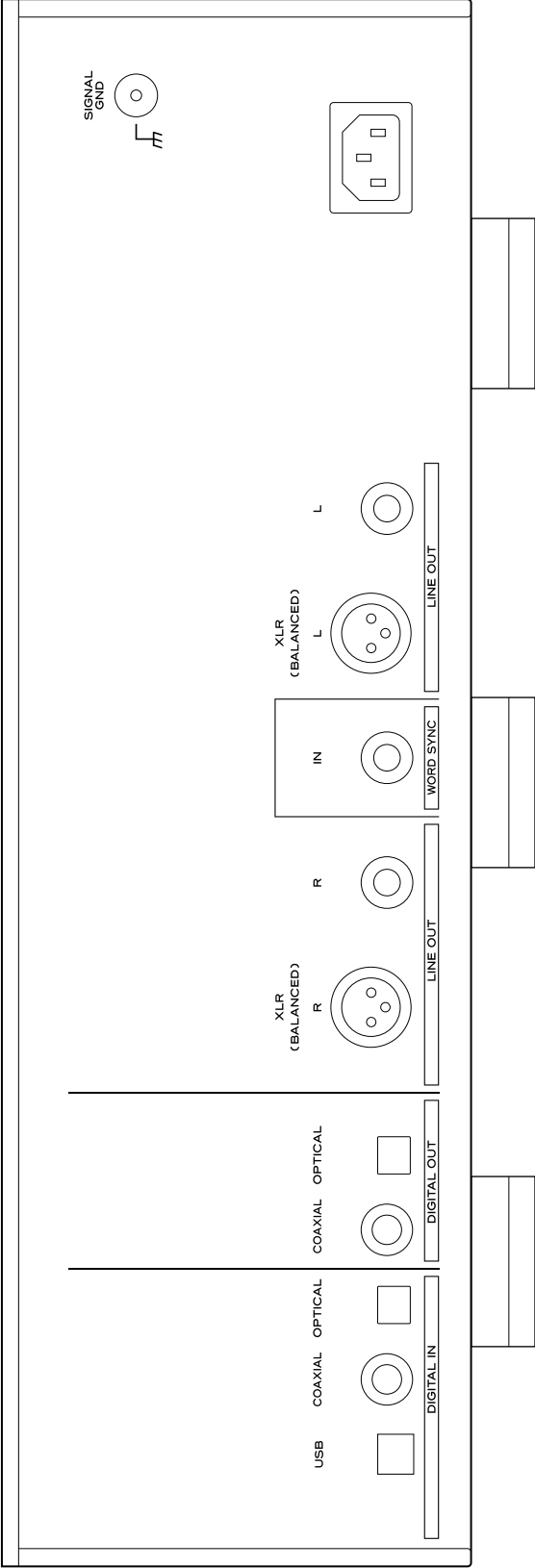
音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



リアパネル



エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<http://www.esoteric.jp/>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。